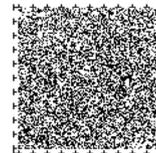


## その他



### ◇ 広報紙「市政はこだて」

市では毎月1回、広報紙「市政はこだて」を発行し、宅配で市内全世帯にお届けしています。  
目の不自由な方（主として視力障がい1級・2級の方）には、点字版、または、録音版・デイジー版を郵送でお届けしていますので、ご希望の方は広報広聴課（☎ 21 - 3631）までご連絡ください。

### ◇ ラジオ・テレビ広報

市では、ラジオ・テレビ番組を通して、市政ニュースやお知らせを放送しています。  
また、ケーブルテレビNCVでも市政情報をお知らせしています。

- ・HBCラジオ（番組名－市民の時間）毎週月曜日から金曜日の午前10時50分から5分間
- ・FMいるか（番組名－市政だより）毎週月曜日から金曜日の午前8時20分から5分間  
午後5時40分から5分間  
（毎週木曜日のみ5分間延長）
- ・STVテレビ（番組名－函館市民ニュース）毎週土曜日の午前11時35分から5分間
- ・ケーブルテレビNCV（データ放送）  
NCV（111）を選局し、リモコンのdボタンを押し、「行政からのお知らせ」をお選びください。

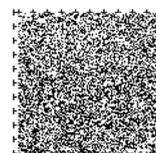
### ◇ 函館市公式LINE

市では、LINEアプリを通じて、災害情報やイベント情報など様々な市政情報を登録者へ発信しています。  
また、携帯端末の画面上に表示されるメニューをタッチしていくことで、知りたい情報を会話形式で調べることができるほか、オンライン申請や施設予約などを行うことができます。  
登録を希望する場合は、LINEアプリで「函館市」と検索し、友だち登録をしてください。

### ◇ その他

市では、市長記者会見に手話通訳を配置し、その様子をYouTubeの市公式動画チャンネルで生配信しています。

(<https://www.youtube.com/channel/UCzuoycG58kXrfWPfjDcFP2Q>)



## 【表紙の絵】

《ベートーヴェン》（1770年～1827年）

ドイツの作曲家。ピアノの教授をして生計をたてながら次々に名曲を送り出した。しかし、作曲家にとって致命的ともいえる耳の障がいが徐々に進行。一度は死をも決意したが、やがてその苦しみを克服した。この強い精神力がダイナミックな彼の作曲の基調となっている。

《野口 英世》（1876年～1928年）

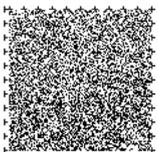
細菌学者。福島県生まれ。1歳半の時に左手に大やけどを負い不自由となる。しかし、周囲のあたたかい援助と、人一倍の努力によって医師となり、伝染病の研究に輝かしい業績を残した。

《ロートレック》（1864年～1901年）

フランスの画家。13歳の時に左足を、14歳の時に右足を骨折して以来、下半身の成長が止まった。しかし、障がいにめげず冷酷なまでの観察力と、鋭く風刺的なデッサン力で、ポスター芸術・版画に独創性あふれる作品を多数残した。

《ヘレン・ケラー》（1880年～1968年）

アメリカの女性福祉実業家。1歳半で熱病のため目と耳の感覚を失う。7歳から家庭教師サリバンの献身的な教育を受け、視覚・聴覚・言語の障がい乗り越え、福祉事業に力を尽くした。「あなたのランプの灯をいま少し高く掲げて下さい。体の不自由な人びとのゆくてを照らすために」という言葉は有名。



## 障がい福祉のしおり

発 行 函館市

編 集 函館市福祉事務所障がい保健福祉課

〒040-8666 函館市東雲町4番13号

☎21-3263 FAX27-2770

E-mail:fukushi-shougai@city.hakodate.hokkaido.jp

印 刷 龍文堂印刷株式会社

※ 函館市ホームページ上に「障がい福祉のしおり」のPDFデータを掲載しています。

函館市ホームページ  
<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/>

